

先端医学研究センター外部評価者会議

(2025 年 3 月 4 日 琉球大学)

共通機器・RI 研究支援分野の活動・運営

医学部附属実験実習機器センター（刷新 HP より）

[ホーム](#)[共用施設・機器](#)[利用方法](#)[利用予約](#)[機器ユーザーグループ](#)[センター活動履歴](#)[スタッフ](#)

📅 2023.11.15 📅 2022.12.13



琉球大学・医学部附属実験実習機器センター

当センターは、琉球大学・医学部内の大型実験・研究機器を一元管理することで、その効率的な運用を図ることを目的として、1983年（昭和58年）に設立されました。1991年（平成3年）より文部科学省・省令施設。2015年（平成27年度）琉球大学・先端医学研究センターの設立に伴い、RI 実験施設と共に「共有機器・RI研究支援分野」として参画しています。

現在、センター長（併任教授）と専任スタッフ（教員、技術職員）により運営されています。医学部内、および学内の基礎・臨床研究を支援するとともに、新規機器の調達、機器の維持管理や利用サポート、専任スタッフらによる基礎生物医学研究・共同研究（ゲノミクス、バイオインフォマティクス、分子進化生態学、DNAメタバーコーディングによる環境分析・生態疫学解析ほか）を行っています。センターに備える生物計算サーバーの管理運営と計算資源提供も行います。

連絡先：

センター事務室

琉球大学上原キャンパス・医学部基礎研究棟 2 階

TEL : 098-895-1205 (内線: 1205)

FAX : 098-895-1440

メール : 57068f89.ryudai.onmicrosoft.com[@マークに置換]apac.teams.ms

検索

検索

最近の投稿

他学部 MiSeq 次世代シーケンサー利用を受け入れました

訂正：イオンコーターを移設し、復旧中です

機器センター 1F 電験準備室→オフィスへの改装

再掲：ELGA 純水・超純水製造装置について UR-CORE からの利用入力をお願いします

Take Free で消耗品の引き取りを募集しています

最近のコメント

[PCR マシン VeritiPro を導入しました](#) に
機器センター講師・佐藤 より

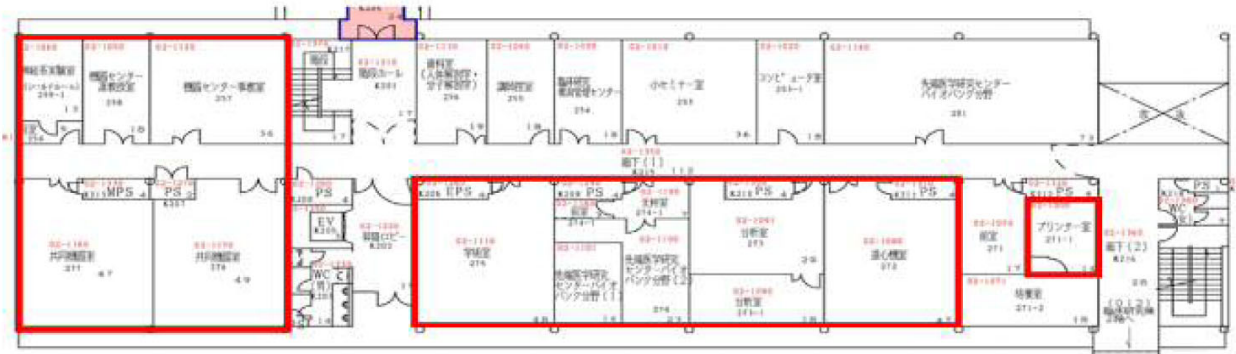
配置図



基礎研究棟
2階

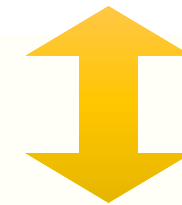
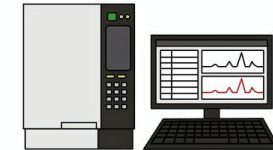
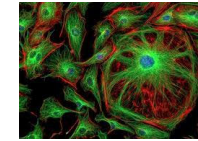
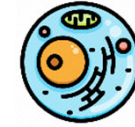


基礎研究棟
1階



保有する主要機器群

- 細胞構造解析機器
- 細胞機能解析機器
- 遺伝子機能解析機器
- 生体成分解析機器
- 機能的実験室
- 共用化機器（琉球大学全体で共用）



連携強化



琉球大学

研究基盤統括システム

University of the Ryukyus Integrated Information System for Core Facilities

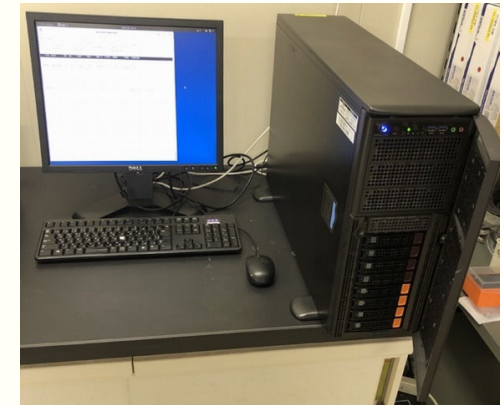
1. 分野の活動評価

(2021 ～ 2024 年度)

- 先端的な研究のため、積極的に貢献する姿勢があるか。
- 分野の活動を記録するなどして自己点検等に努めているか。
- 分野自身が研究を実施する場合、その研究が先端的であるか、又はセンターの目的に合致するものであるか。
- 分野自身が研究をする場合、法令や学内規則に定められた各種審査委員会等により適切な手続きを踏んでいるか。

先端医学研究への貢献

- ✓ 主に次世代シーケンサーを活用した
遺伝子、ゲノム、細菌叢、環境 DNA の解析支援
医学部内受託解析の体制を構築



- 長鎖一分子シーケンサー Sequel I を、先進ゲノム検査医学講座から移設、導入
- DNA/RNA 実験環境を機器センター内に整備、利用者に開放



- クライオスタット CM 1950 (ライカ)



- 小動物用超音波イメージング装置 Prospect T1 (ネッパジーン)

- 超低温フリーザー (PHCbi)



- リアルタイム PCR マシン LightCycler96 (ロシュ) : 保健学科設置



- PCR サーマルサイクラー VeritiPro96 (ABI) : 保健学科設置

- ゲルイメージング装置 GelDoc Go (BioRad)



- 生物・ヒトゲノム解析用サーバー (SuperMicro)



2. 分野運営の評価 (2021 ～ 2024 年度) :

- 先端的な研究のため，研究者に設備・機器・ノウハウ・アドバイス等を適切又は効果的に提供できているか。
- 健全な財政（収支）に努めているか。
- 分野の構成員について適切な役割分担ができているか。又は構成員が役割を認識しているか。
- 分野内での定期的な情報共有ができているか。

研究支援、講習・研修会などの実績

内容	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受託解析	5件（計9名）	6件（計10名）	8件（計14名）	10件（計13名）
研究セミナー	開催なし （新型コロナ）	開催なし （新型コロナ）	開催なし	開催なし
機器操作説明会	開催なし （新型コロナ）	3件（25名）	3件（20名）	2件（14名）
見学会	開催なし （新型コロナ）	1件（12名）	開催なし	開催なし
大学院講義・ 集中講義	7コマ （計50名）	7コマ （計50名）	7コマ （計50名）	6コマ （計60名）

※ 受託解析では、ゲノム解析、次世代シーケンサー活用、バイオイン
フォーマティクス解析などの研究支援を行い、年ごとに件数を伸ばしている

R6 年度・西普天間先端研新規導入の機器

- Orbitrap Mass Spectrometer (ThermoFischer)
- 小動物用3DマイクロCT コスモスキャン (Rigaku)
- 共焦点レーザー顕微鏡FV4000 5レーザー(evident)
- 透過型電子顕微鏡 (日本電子)
- オールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X800 (KEYENCE)
- フローサイトメーター FACSymphony (BD)

まとめ： 共通機器・RI 支援の R6 年度活動

- 学内受託解析という形で、医学部内の基礎系講座や、とくに臨床系講座への研究支援を推進
→ 料金システムを学内規程化し、運用中
(R6 実績見込みは～10件、～30万円)
- 機器センターの教員・技術職員と、RI 施設職員で連携し、受託解析、機器メンテナンス・修理、定期ミーティング(月例)などの活動を協力して推進